

5370395/

【用紙-3】

協 力 工 場 記 入	株式会社三ツ矢米沢工場 殿		発行日： 2014年05月09日							
			整理No： 45F-05-005							
	協力工場 不良品連絡書									
	再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。		<table border="1"> <tr> <th>承認</th> <th>調査</th> <th>担当</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		承認	調査	担当			
	承認	調査	担当							
										
	指定回答日： 2014年05月16日									
	仕様番号	133849-1-11	不良内容 銀メッキ変色							
	品名	W.FL-2LP-04-L ケーブルクランプ								
	金型番号	P5747								
ロットNo	プレスロット：G11-3.3303.3304/G13-2.3350/H02-2.3516/H13-2.3530 めっきロット：MY14-130718-02A,03A/MY11-130720-09A/MY14-130808-20R 34R									
連絡受理日	2014/05/09 14:32:48									
対象数量	100,000									
協 力 工 場 記 入	1. 確認内容		返却品の処置（数量明記）							
	2014年5月12日、標記製品に変色が発生しているとの御連絡を頂きましたので、発生要因について弊社にて調査を行いました。		返却品の処置について、御指示の程、宜しく願い申し上げます。							
	2. 発生原因		4. 流出原因							
	対象品の弊社キープサンプルを確認致しましたが、変色は確認されませんでした。それに対し、御返却頂いた現品を確認した結果、変色は30cm～1m程の間隔でリールの窓付近に発生しており、分析を行ったところ、変色はAgの硫化によるものであることが確認されました。（別紙参照願います）以上のことから、現品が袋等で保護されていなかったため、窓部分から硫化し、変色したものと考えます。		弊社工程を確認した結果、対象品はシカゲルを入れ、ビニール袋に梱包しておりますので、本不適合は弊社工程以降の発生と考えます。							
	3. 発生防止対策		5. 流出防止対策							
	上記調査結果から、本不適合は弊社工程以降の要因と思われるので、お手数ですが再度御確認の程、宜しく願い申し上げます。		上記調査結果から、本不適合は弊社工程以降の要因と思われるので、お手数ですが再度御確認の程、宜しく願い申し上げます。							
	実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日							
	在庫品仕掛品の確認		回答日： H26 年 5月16日							
	在庫品	仕掛品	<table border="1"> <tr> <th>承認</th> <th>調査</th> <th>作成</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		承認	調査	作成			
	承認	調査	作成							
										
標準類改訂 有・無 ()		<table border="1"> <tr> <th>承認</th> <th>調査</th> <th>確認者</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		承認	調査	確認者				
承認	調査	確認者								
										
確認	客先起因となり、為 閉鎖致し可。									

(株) 鈴木

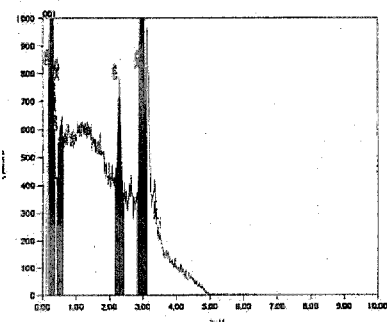
Rev: B SQM-10010-4

分析結果 加速電圧:5kV

濃変色キャリア部 30倍

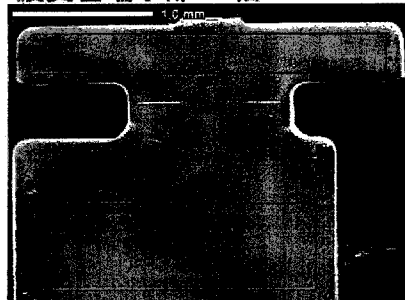


area001 分析結果

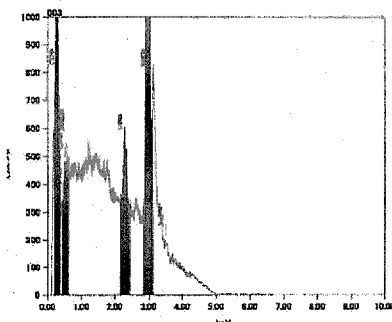


元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	1.03	0.01
O K	0.525	0.3	0.04
S K	2.307	2.61	0.09
Ag L	2.983	96.06	0.72
合計		100	

濃変色端子部 45倍

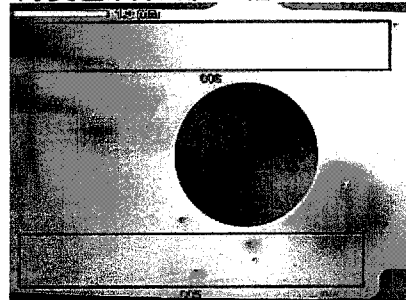


area003 分析結果

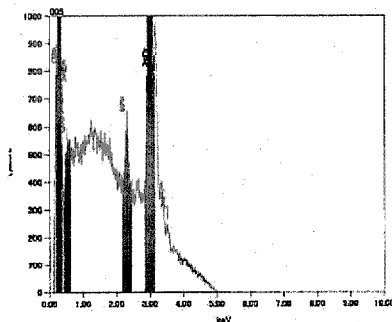


元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	1.02	0.01
O K	0.525	0.43	0.03
S K	2.307	2.27	0.09
Ag L	2.983	96.28	0.7
合計		100	

薄変色キャリア部 30倍

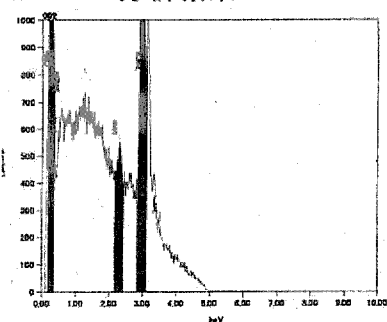


area005 分析結果



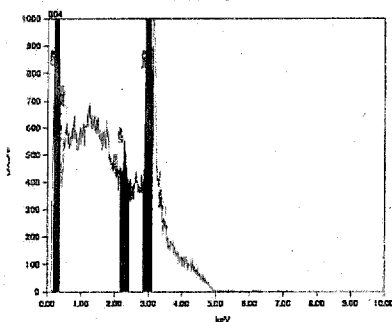
元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.93	0.01
O K	0.525	0.34	0.03
S K	2.307	1.46	0.09
Ag L	2.983	97.28	0.68
合計		100	

area002 分析結果



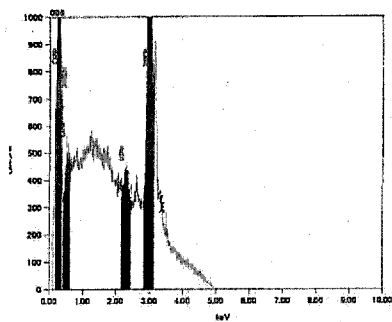
元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.74	0.01
S K	2.307	0.91	0.09
Ag L	2.983	98.35	0.69
合計		100	

area004 分析結果



元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.66	0.01
S K	2.307	0.67	0.08
Ag L	2.983	98.67	0.63
合計		100	

area006 分析結果

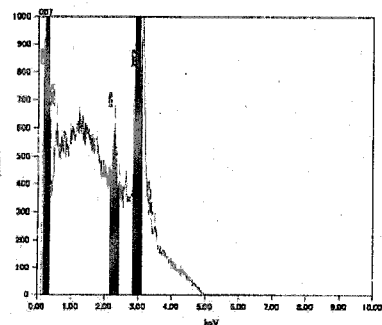


元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.67	0.01
O K	0.525	0.3	0.03
S K	2.307	0.67	0.08
Ag L	2.983	98.36	0.59
合計		100	

薄変色端子部 45倍



area007 分析結果

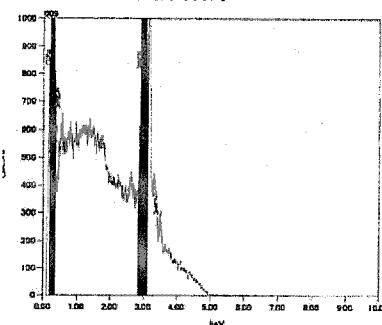


元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.67	0.01
S K	2.307	1.32	0.08
Ag L	2.983	98	0.64
合計		100	

キープサンプル キャリア部 30倍

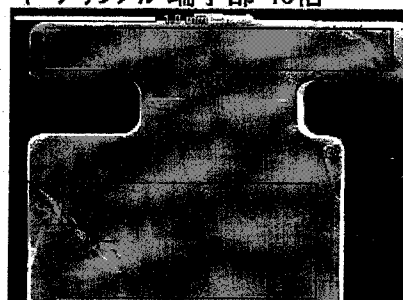


area009 分析結果

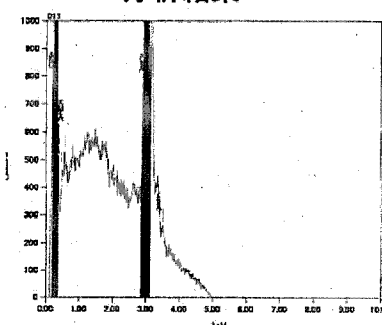


元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.6	0.01
Ag L	2.983	99.4	0.67
合計		100	

キープサンプル 端子部 45倍

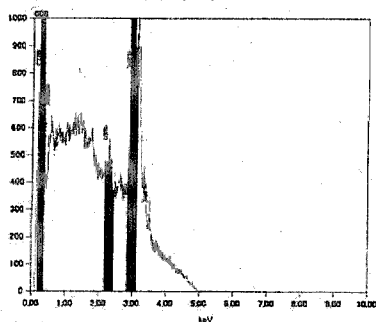


area011 分析結果



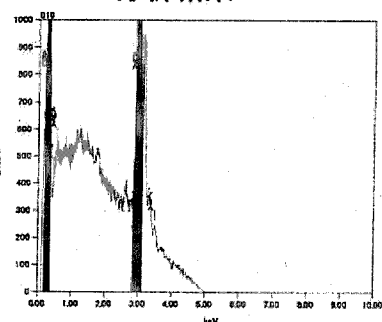
元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.41	0.01
Ag L	2.983	99.59	0.62
合計		100	

area008 分析結果



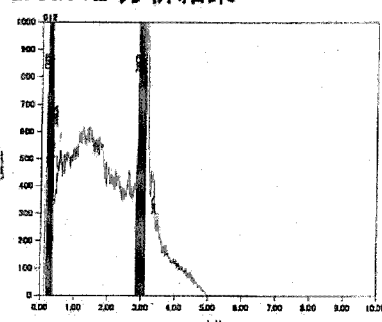
元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.71	0.01
S K	2.307	0.65	0.08
Ag L	2.983	98.64	0.64
合計		100	

area010 分析結果



元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.57	0.01
Ag L	2.983	99.43	0.62
合計		100	

area012 分析結果



元素	(keV)	質量%	誤差%
C K	0.277	0.43	0.01
Ag L	2.983	99.57	0.6
合計		100	

【考察】

変色部からは全て『S』が検出されました。硫化によるAgの変色と考えられます。

一方、キープサンプルの分析では『S』は検出されませんでした。手動による定性では
 area009=0.22% area010=0.00% area011=0.25% area012=0.29%
 の、検出量でした。

これは、変色防止処理成分に含有しているものが検出されたもので変色に起因するものではありません。

また、今回の変色はリール窓部分付近に濃い変色が発生していることも確認されました。

リールでの使用環境や保管環境により変色したものと推測されます。